

名古屋市感染症発生動向調査情報

2019年(平成31年)第8週(2月18日～2月24日)

名古屋市感染症情報センター（名古屋市衛生研究所疫学情報部）2019年2月27日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第8週（2月18日～2月24日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は5.21人/定点で、前週（7.91人/定点）より減少しました。
- インフルエンザウイルスのうち、近年、国内で流行しているのは、AH1pdm09亜型（2009年に流行したインフルエンザ）、AH3亜型（いわゆる香港型）、B型（ビクトリア系統、山形系統）です。2018/19シーズンはこれまでにAH1pdm09亜型およびAH3亜型が多く検出されています。
- 患者報告数はピークを過ぎ減少していますが、引き続き注意が必要です。

〔麻疹〕

- 本市における第8週（2月18日～2月24日）の麻疹の患者報告数は1人で、2019年の累積患者報告数は7人になりました。また、全国の麻疹の累計患者報告数は222人（第7週まで）になりました。
- 麻疹は空気感染をし、その感染力は非常に強いと言われており、感染期間は発症1日前から解熱後3日後とされています。
- 麻疹の治療は、特異的な根治療法がなく対症療法を行います。
- 予防はワクチン接種で、MRワクチンの定期予防接種が1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に行われています。

〔風しん〕

- 本市における第8週（2月18日～2月24日）の風しんの患者報告数は1人で、2019年の累計患者報告数は7人になりました。また、全国の風しんの累計患者報告数は528人（第7週まで）になりました。
- 風しん患者の中心は30代から50代の男性であることから、2022年3月31日までの間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性が、風しんに係る定期の予防接種の対象者として追加されました。
- 詳しい実施方法については、方法が決まり次第、市公式ウェブサイトや広報なごや等でお知らせ致します。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の 2.6 人から 3.2 人に増加した。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の 0.9 人から 1.2 人に増加した。
- 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は、前週の 0.1 人から 0.2 人に増加した。
- 伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は、前週の 0.2 人から 0.3 人に増加した。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 8 週	2 類	結核	9	• 男性、52 歳、肺結核 • 女性、92 歳、肺結核 • 女性、88 歳、肺結核 • 女性、98 歳、肺結核 • 男性、91 歳、肺結核 • 女性、34 歳、肺結核及び腸結核、結核性腹膜炎 • 女性、57 歳、無症状病原体保有者 • 男性、67 歳、無症状病原体保有者 • 男性、71 歳、無症状病原体保有者
2019 年 第 8 週	4 類	A 型肝炎	1	• 女性、30 歳、感染地域：パキスタン
2019 年 第 8 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	• 女性、37 歳
2019 年 第 8 週	5 類	後天性免疫不全症候群	3	• 男性、47 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内 • 男性、55 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内 • 男性、29 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内

2019 年 第 8 週	5 類	侵襲性肺炎球菌 感染症	2	- 男性、3 歳、菌検出検体：血液 - 男性、5 歳、菌検出検体：血液
2019 年 第 8 週	5 類	水痘（入院例）	1	女性、25 歳、検査診断例
2019 年 第 8 週	5 類	梅毒	6	- 男性、33 歳、早期顕症梅毒（1 期） - 男性、47 歳、早期顕症梅毒（1 期） - 男性、32 歳、早期顕症梅毒（1 期） - 男性、47 歳、早期顕症梅毒（1 期） - 男性、46 歳、早期顕症梅毒（2 期） - 女性、19 歳、無症状病原体保有者
2019 年 第 8 週	5 類	百日咳	3	- 女性、0 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 - 男性、11 歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 - 男性、44 歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県、京都府
2019 年 第 8 週	5 類	風しん	1	女性、42 歳、検査診断例、感染地域：愛知県、大阪府
2019 年 第 8 週	5 類	麻疹	1	男性、19 歳、検査診断例、感染地域：愛知県

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 7 週	5 類	梅毒	1	男性、63 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2019 年 第 6 週	5 類	侵襲性肺炎球菌 感染症	1	男性、83 歳、菌検出検体：髄液、血液
2019 年 第 4 週	2 類	結核	1	男性、27 歳、肺結核

2018年 第52週	2類	結核	1	• 男性、72歳、肺結核
2018年 第51週	2類	結核	1	• 女性、24歳、粟粒結核、結核性髄膜炎
2018年 第49週	2類	結核	2	• 男性、85歳、肺結核 • 男性、83歳、無症状病原体保有者
2018年 第33週	2類	結核	1	• 男性、69歳、無症状病原体保有者
2018年 第32週	2類	結核	1	• 男性、75歳、結核性胸膜炎

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2019年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	73（18）〔0〕 〔0〕【1】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3（1）
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1
4類感染症	A型肝炎	1
4類感染症	デング熱	1
4類感染症	レジオネラ症	2

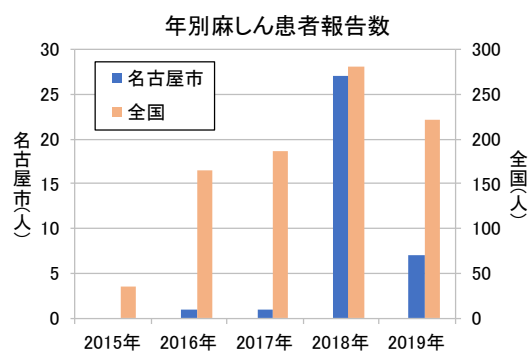
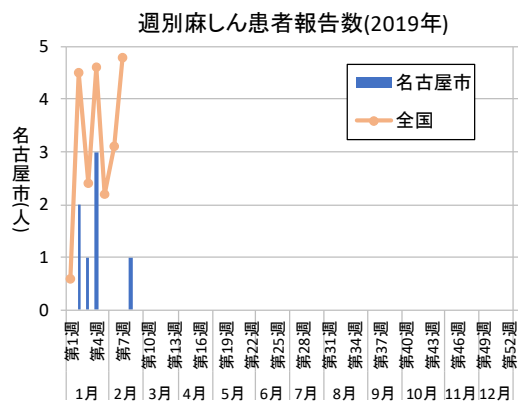
5 類感染症	アメーバ赤痢	4
5 類感染症	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	1
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	5【1】
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5【1】
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	8（6）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	17
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	1
5 類感染症	梅毒	30（9）
5 類感染症	百日咳	35
5 類感染症	風しん	7
5 類感染症	麻しん	7

累計は 2019 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年2月27日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)	第8週 (2/18～ 2/24)					合計(人)
	2	1	3	1					7※

※第8週(2月24日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

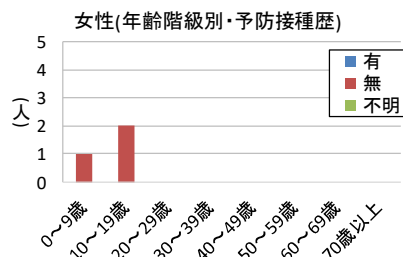
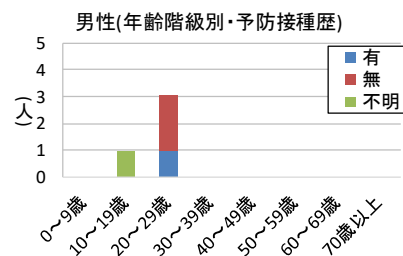
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	7※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	25※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	282	222※3

※1: 第8週(2月24日)まで ※2: 2月26日時点 ※3: 第7週(2月17日)まで

麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳			1	1
	20～29歳	1	2		3
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		1	2	1	4
女性	0～9歳		1		1
	10～19歳		2		2
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	3	0	3
総計(人)		1	5	1	7

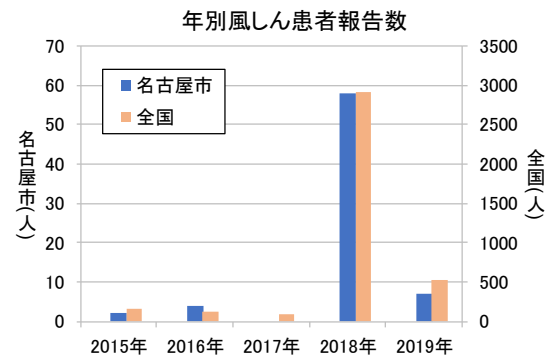
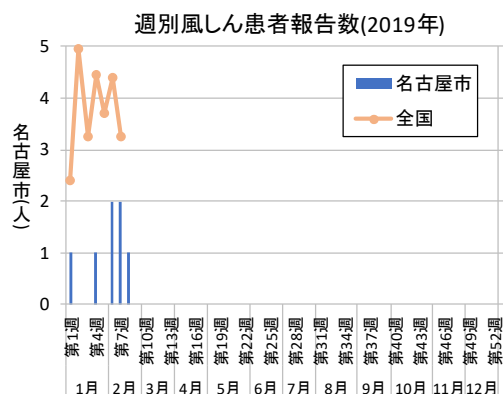


麻しん患者情報(2019年名古屋市)

No.	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.8	7歳	女	無	不明	不明
2	2019.1.10	20歳代	男	無	無	国内(三重県)
3	2019.1.19	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
4	2019.1.21	10歳代	女	無	有	フィリピン
5	2019.1.22	10歳代	女	無	有	フィリピン
6	2019.1.25	20歳代	男	有	無	国内
7	2019.2.21	10歳代	男	不明	無	国内(愛知県)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年2月27日作成〕



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31～ 1/6)	第4週 (1/21～ 1/27)	第6週 (2/4～ 2/10)	第7週 (2/11～ 2/17)	第8週 (2/18～ 2/24)				合計(人)
	1	1	2	2	1				7※

※第8週(2月24日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

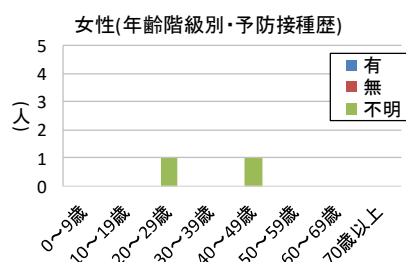
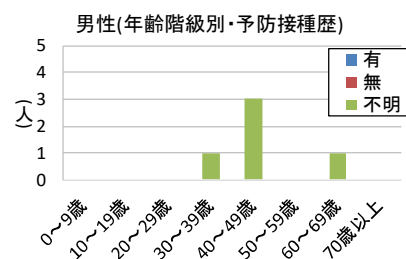
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119	13※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2917	528※3

※1: 第8週(2月24日)まで ※2: 2月26日時点 ※3: 第7週(2月17日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳			1	1
	40～49歳			3	3
	50～59歳				0
	60～69歳			1	1
	70歳以上				0
計(人)		0	0	5	5
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			1	1
	30～39歳				0
	40～49歳			1	1
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	2	2
総計(人)		0	0	7	7



風しん患者情報(2019年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.4	40歳代	男	不明	無	国内
2	2019.1.21	60歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
3	2019.2.8	30歳代	男	不明	無	不明
4	2019.2.9	20歳代	女	不明	無	不明
5	2019.2.12	40歳代	男	不明	無	国内
6	2019.2.15	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
7	2019.2.23	40歳代	女	不明	無	国内

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

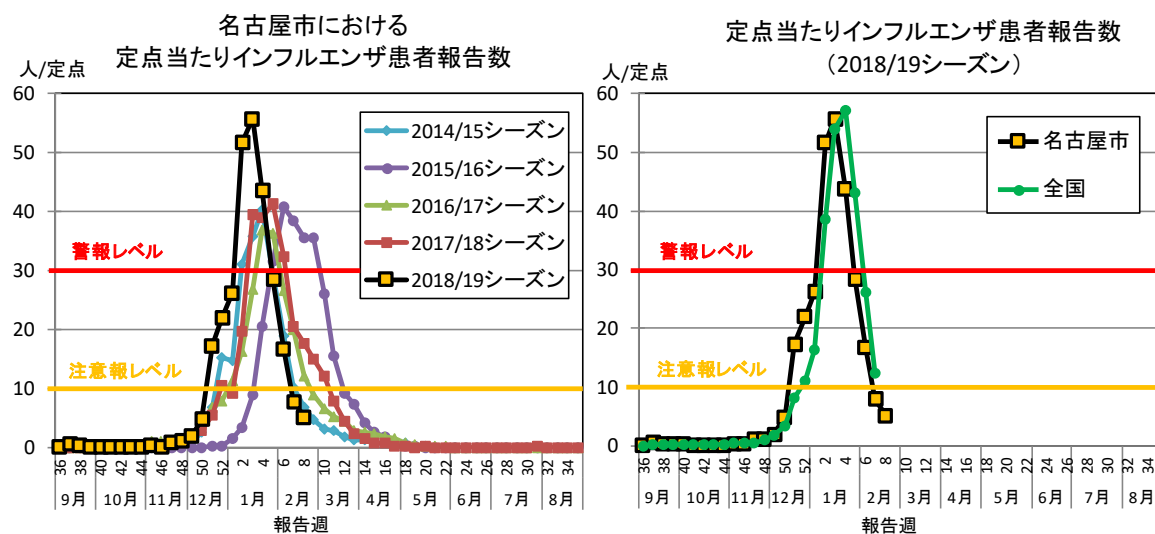
定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ A 型 5 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 8 名	定点医療機関（千種区）
ロタ(+)	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 3 名	定点医療機関（東区）
全てインフルエンザ A 型	定点医療機関（北区）
インフルエンザ A 型 2 名 ヒトメタニューモウイルス感染症 2 歳男児	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 13 名、B 型 1 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 3 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（中村区）

インフルエンザ A 型 2 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型： 1 名、インフルエンザ B 型： 2 名	定点医療機関（中区）
全てインフルエンザ A 型： 6 名	定点医療機関（中区）
全てインフルエンザ A 型： 5 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型： 3 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 2 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 1 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 2 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 2 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型： 3 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型： 4 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 1 名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、すべて A 型です。 男性 15 名 女性 17 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべて A 型です。 男性 2 名	定点医療機関（南区）
インフルエンザ A 型 6 名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）

インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザ A 型	定点医療機関（緑区）
すべてインフルエンザ A 型でした。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザ A 型 5 名でした。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザ A 型 1 人 ノロウイルス腸炎 1 歳女・ 13 歳男	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数の推移：2019年2月27日作成〕



定点当たり患者報告数(2018/19シーズン)

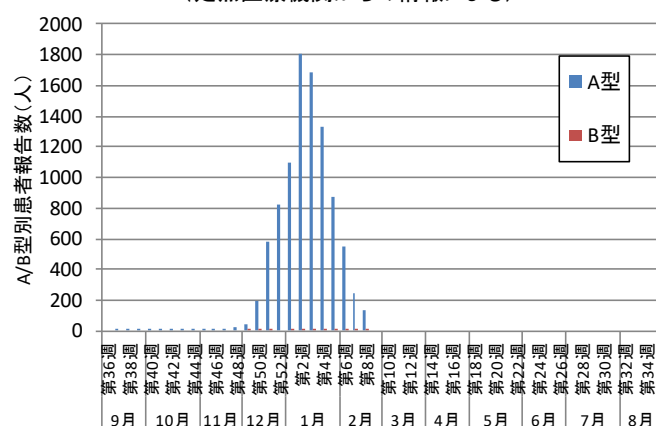
	第1週 (12/31～ 1/6)	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)	第5週 (1/28～ 2/3)	第6週 (2/4～ 2/10)	第7週 (2/11～ 2/17)	第8週 (2/18～ 2/24)
名古屋市	26.23	51.66	55.77	43.69	28.47	16.67	7.91	5.21
愛知県	46.42	75.38	81.86	61.82	38.23	22.64	10.92	—
全国	16.30	38.54	53.91	57.09	43.24	26.28	12.49	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警戒の基準
※報告数は各週公表時における速報値

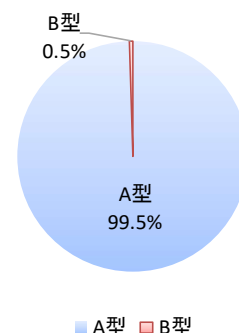
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2019年第8週は、インフルエンザA型132人、インフルエンザB型3人でした。2018/19シーズンの累計では、インフルエンザA型9475人(99.5%)、B型48人(0.5%)となっています。

インフルエンザA/B型別患者報告数(2018/19シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2018/19シーズン累計)



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆2019 年第 8 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2019年第8週（2019年2月18日～2月24日）

疾患	区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★ インフルエンザ		17	29	11	33	33	14	10	8	10	65	26	36	27	8	20	18	365	0.7	0.2
○ RSウイルス感染症			1	4	10	2					2		7		1			27	0.8	2.9
○ 咽頭結膜熱		2	1		1						4		1	1		2		12	1.5	1.1
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	9	7	4	2	1			2	3	7	5	8	2	11	14	84	1.3	1.1
○ 感染性胃腸炎		25	2	18	23	16	6	15			6	50	13	18	9	12	14	227	1.3	1.1
○ 水痘		1		1		1					1	1		1	1	1	1	9	1.8	0.9
○ 手足口病								1										1	1.0	0.4
○ 伝染性紅斑		3		2								2	1	1		6	3	20	1.4	6.7
○ 突発性発疹		2	1		4							1		1			1	10	1.1	0.8
○ ヘルパンギーナ																		0	0.0	
○ 流行性耳下腺炎				1	1													2	1.0	0.5
△ 急性出血性結膜炎																		0		
△ 流行性角結膜炎		1								1					1			3	0.6	1.8
◇ 細菌性髄膜炎																		0		
◇ 無菌性髄膜炎																		0		
◇ マイコプラズマ肺炎																		0	0.0	0.0
◇ クラミジア肺炎																		0		
◇ 感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																		0		0.0
計		60	43	44	76	54	21	26	8	13	81	87	63	57	24	52	51	760		

★ インフルエンザ定点数

○ 小児科定点数

△ 眼科定点数

◇ 基幹定点数

5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
5	4	5	4	5	4	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	70
1		1	1	1	1		1	1	1			1		1	1	11
			1				1			1						3

☆○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

*過去3年の同週の平均値との比

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）											2019年第8週（2019年2月18日～2月24日）							
疾患	区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ		3.4	7.3	2.2	8.3	6.6	3.5	2.0	1.6	2.5	16.3	6.5	9.0	5.4	2.0	5.0	4.5	5.2
RSウイルス感染症			0.3	0.8	2.5	0.4					0.5		1.8		0.3			0.4
咽頭結膜熱		0.4	0.3		0.3						1.0			0.3	0.2		0.5	0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.8	2.3	1.4	1.0	0.4	0.3			0.5	0.8	1.8	1.3	1.6	0.5	2.8	3.5	1.2
感染性胃腸炎		5.0	0.5	3.6	5.8	3.2	1.5	3.0			1.5	12.5	3.3	3.6	2.3	3.0	3.5	3.2
水痘		0.2		0.2		0.2					0.3	0.3		0.2	0.3	0.3	0.3	0.1
手足口病								0.2										0.0
伝染性紅斑		0.6		0.4								0.5	0.3	0.2	0.5	1.5	0.8	0.3
突発性発しん		0.4	0.3		1.0							0.3		0.2			0.3	0.1
ヘルパンギーナ																		
流行性耳下腺炎				0.2	0.3													0.0
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎		1.0								1.0					1.0			0.3

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2019年第8週(2019年2月18日～2月24日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	3	4	12	20	16	14	21	22	21	25	20	38	10	27	32	27	22	15	10	6

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	5	7	7	5		1		1				1		
咽頭結膜熱		1	3	2	2	3	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	8	6	11	10	9	9	8	9	7		5
感染性胃腸炎		11	23	14	13	12	17	9	9	10	8	23	15	63
水痘			1			1			1	2	2	1		1
手足口病														1
伝染性紅斑			3	1	2	2	4	3		1	2	2		
突発性発しん	2	1	6	1										
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎							1			1				

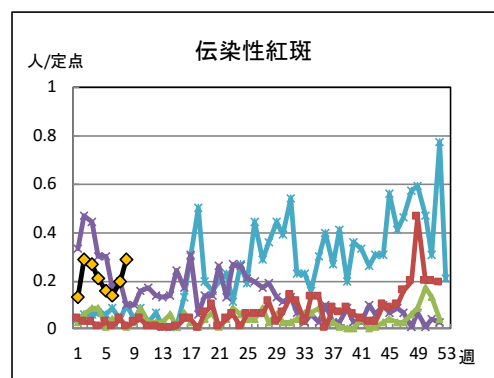
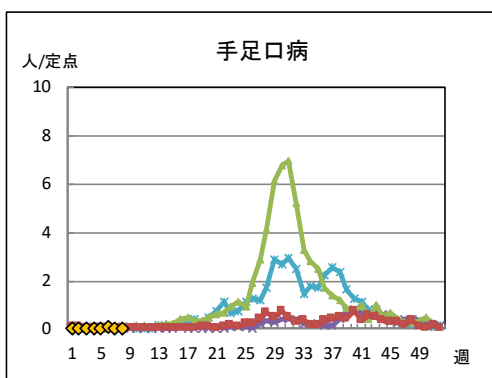
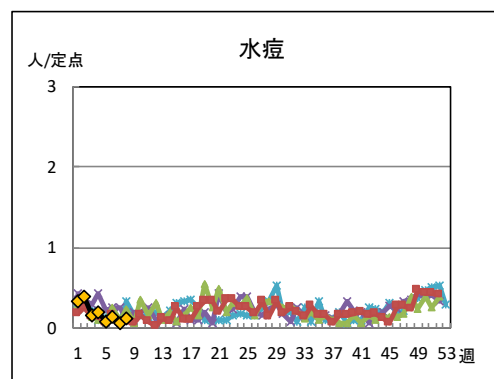
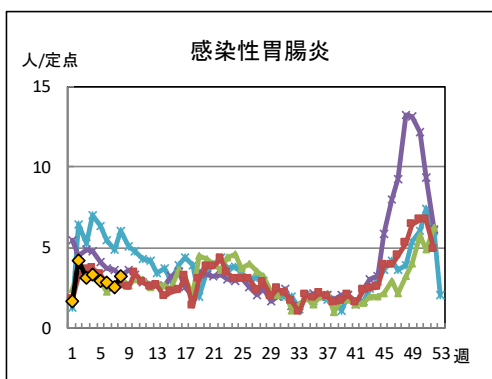
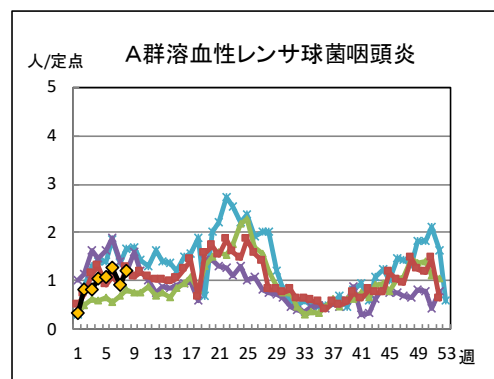
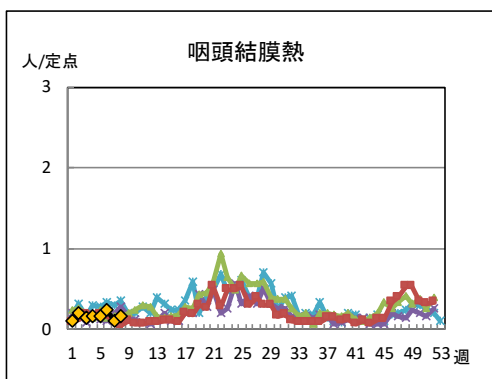
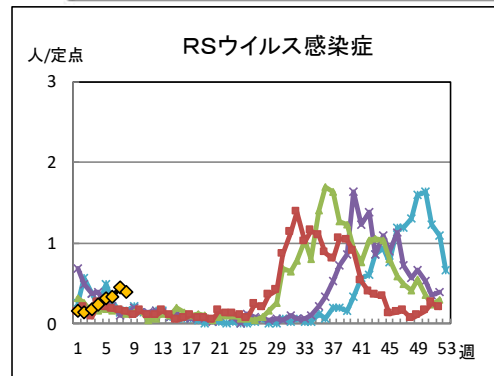
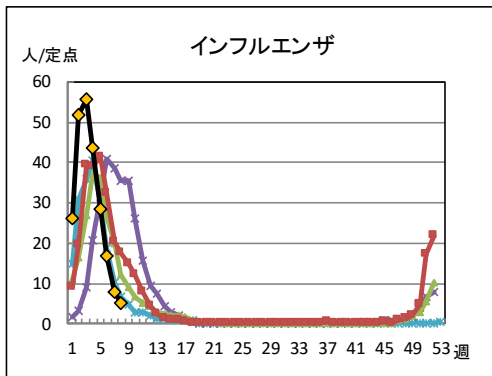
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎							1								1	1			

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3ヵ所)〕

【2019年第8週:0件】 【2018/2019シーズン累計数:35件】

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第8週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第8週まで

